

会議録

| | |
|------|--|
| 会議名 | 令和2年度 第1回善通寺市総合計画審議会 |
| 開催日時 | 令和2年11月30日（月） 10:00～11:00 |
| 開催場所 | 善通寺市役所 3階 大会議室 |
| 出席者 | （出席委員） 杉本会長、久保副会長、高島委員、川村委員、山根委員、豊岡委員、 武田委員、田中委員、西山委員、森川委員、塩田委員 （欠席委員） 安藤委員、島津委員 |
| 議題 | 第5次善通寺市総合計画の進行管理について 第6次善通寺市総合計画の策定について |
| 事務局 | 総務部長、政策課長、香川課長補佐、小河課長補佐、林係長 |
| 傍聴者 | なし |
| 発言者 | 議事の概要及び発言の要旨 |
| 政策課長 | 委員委嘱（委嘱状の交付） 市長挨拶 欠席者の報告、審議会成立の宣言 会長及び副会長の互選：杉本会長、久保副会長に決定 |
| 杉本会長 | 挨拶 |
| 林係長 | 議題（1）第5次善通寺市総合計画の進行管理について 第5次善通寺市総合計画の進行管理について説明 |
| A委員 | 「1-1 市民主体のまちづくりの推進」において、コミュニティスクールの活動が重要だと思われるが、本年度は予算が1万円しか措置されていなかった。来年度に向けてはどのような動きなのか。 |
| 政策課長 | 予算的には1万円だが、各学校について着実に活動を進めている。 来年度の予算については、ちょうど本日予算審議なので、その中で財政当局と担当課の議論がある。コミュニティスクールの活動について、大事に取り組んでいきたいと考えている。 |
| 杉本会長 | 都会に比べると善通寺市は地域と学校のつながりが強いと感じているので、その強みを活かして進めていただきたい。 |
| B委員 | 「3-2 生涯学習社会の確立」について、各地区公民館の利用者数の項目があるが、既存の活動や組織が減少・消滅している。 数字に現れない部分や時代の流れを考え、若い方の活動や地区横断的な活動を促進していかないといけない。 |
| 杉本会長 | 特定の活動団体に所属していれば利用するが、それ以外では市民の利用の機会は多くないのではないかと。各地区公民館の利用について、幅広に検討してはどうか。 |
| 政策課長 | 継続して、検討していく。 |

| 発言者 | 議事の概要及び発言の要旨 |
|-------------------------|---|
| C委員 | 「5-2 循環型社会の形成」について、環境問題に対し市はどのようにお考えか。 |
| 政策課長 | 環境基本計画の更新やゼロカーボンシティ宣言にあるように、環境問題にはこれまでも力を入れているし、これからも積極的に取組んでゆきたい。 |
| C委員 | 善通寺市の環境に関するこれまでの取り組みを、持続して発展させてほしい。 |
| 杉本会長 | 環境問題の意識は持っている、関心はあるという人は多いと思うが、具体的な行動として現れているかという点と難しい。 皆さんができるだけ行動に移しやすいような行政上の工夫を期待する。 |
| C委員 | 防災について、コロナ問題の初期の頃、各自治体が中国にマスクを送ったりした際に、ニュースでは善通寺市だけが抜けていることが多かったように感じるが、どうか。また、防災備蓄についてはどのような状況か。 |
| 総務部長 | 近隣市町村との連携は、通常中讃地区で密に行うことが多いが、今回は、具体的に連携して行うことがなかった。そのため、個別にきちんと対応している。また、備蓄について、県の定める基準を超える備蓄は行っている。 |
| 議題（2）第6次善通寺市総合計画の策定について | |
| D委員 | <p>【資料による提案】 行政だけが地域の未来を作っていくわけではない。 市民参加のあり方について、小田原市と紫波町の取り組みを参考に提示したい。どちらにも共通することだが、手間を惜しまないことが大切である。 そこで、総合計画について、これからのプロセスを教えてください。</p> |
| 政策課長 | <p>今後、12月に市議会へ報告、1月にパブリックコメントを予定している。 なお、新型コロナウイルスの感染拡大の観点から、新たな総合計画の策定を題材にした大規模なWSは実施していない。 しかし、昨年度に実施した市民アンケートの結果や、様々な場での対話から、関係者との対話を試みている。 具体的には、市内の中学校へ政策課の職員が出向き授業に参加したり、高等学校の探求の時間において地域課題の解決に向けた提案をしていただく際や、大学・短大・専門学校との連携事業の中で、善通寺市のまちづくりについて対話を重ねてきた。 また、まちおこし活動をしているグループや地域コミュニティとの対話も行っている。 これからも、地域との対話と連携を大切にしたいまちづくりを進める。</p> |
| D委員 | 善通寺市のアドバンテージを活かした取り組みをどう活用していくのか。目新しいものに走るのではなく、今あるものの価値を再確認し、活用していくことも大切ではないか。 |
| 政策課長 | <p>これからのまちづくりにおいて、新しいものを取り入れていくことと同時に、今あるものの価値を再認識し、活用していくことにも取り組んでいく。 具体的な話として、四国学院大学のパフォーミングアーツ研究所と地域おこし協力隊との連携事業、四国こどもとおとなの医療センターとの連携事業などを検討している。</p> |

| 発言者 | 議事の概要及び発言の要旨 |
|------|--|
| D委員 | 市民参加の取組み、WSや意見交換など、対話の場を大切にしてほしい。 |
| E委員 | 自衛隊と総本山善通寺について、あまりにも身近な存在のため、連携や活用について議論できていないのではないか。水や空気のような感じで十分に意識できていない気もするので、その辺りについても意識的に取組んではどうか。 |
| 政策課長 | 自衛隊や総本山善通寺と連携した事業を考えている。総本山善通寺とは、既に十八本山巡拝等にかかるシティプロモーション事業などで協力関係にある。 |
| 杉本会長 | 他に意見がないようなので、これにて閉会とします。 |